

# 2018年12月期 決算説明

サイオス株式会社  
(東証二部 : 3744)  
2019年2月6日

# 目次

---

- I 2018年12月期 業績の概要**
- II 2018年12月期取り組みの振り返り**
- III 中期経営計画概要および通期業績予想**



# 2018年12月期 業績の概要

# 2018年12月期 業績 (連結)



(単位：百万円)

	17年12月期	18年12月期	差額	前年同期比
売上高	12,470	<b>12,799</b>	329	2.6%
売上総利益	4,386	<b>4,210</b>	△176	△4.0%
営業利益	320	<b>290</b>	△30	△9.4%
経常利益	326	<b>310</b>	△15	△4.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	△587	<b>225</b>	813	-
EBITDA	497	<b>375</b>	△121	△24.5%
ROIC	10.1%	<b>8.7%</b>	-	-

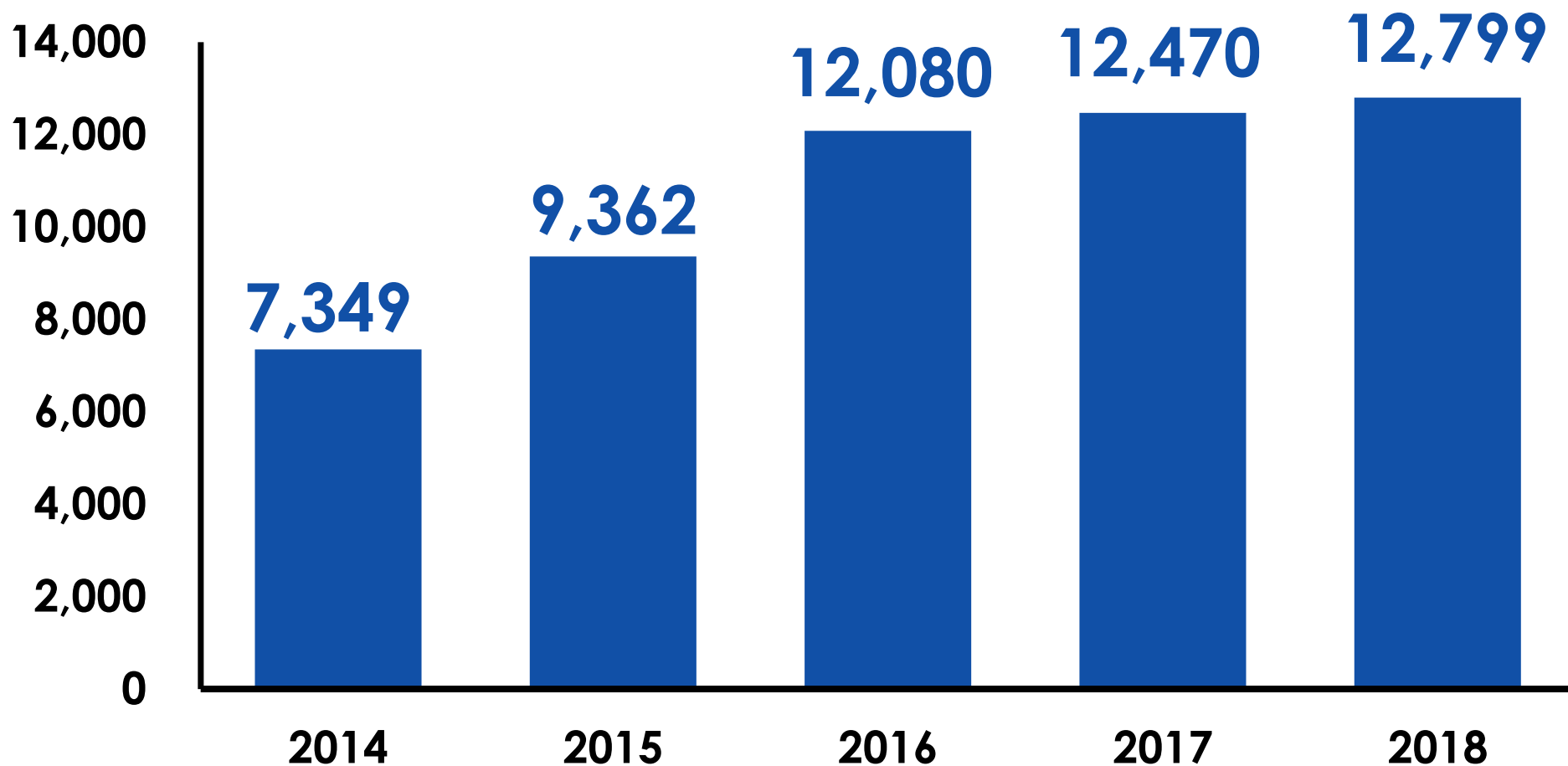
※EBITDA・・・営業利益+減価償却費+のれん償却額

※ROIC・・・営業利益×(1-実効税率)÷(有利子負債+株主資本)

# 連結売上高の推移

## 過去最高を更新

(単位：百万円)

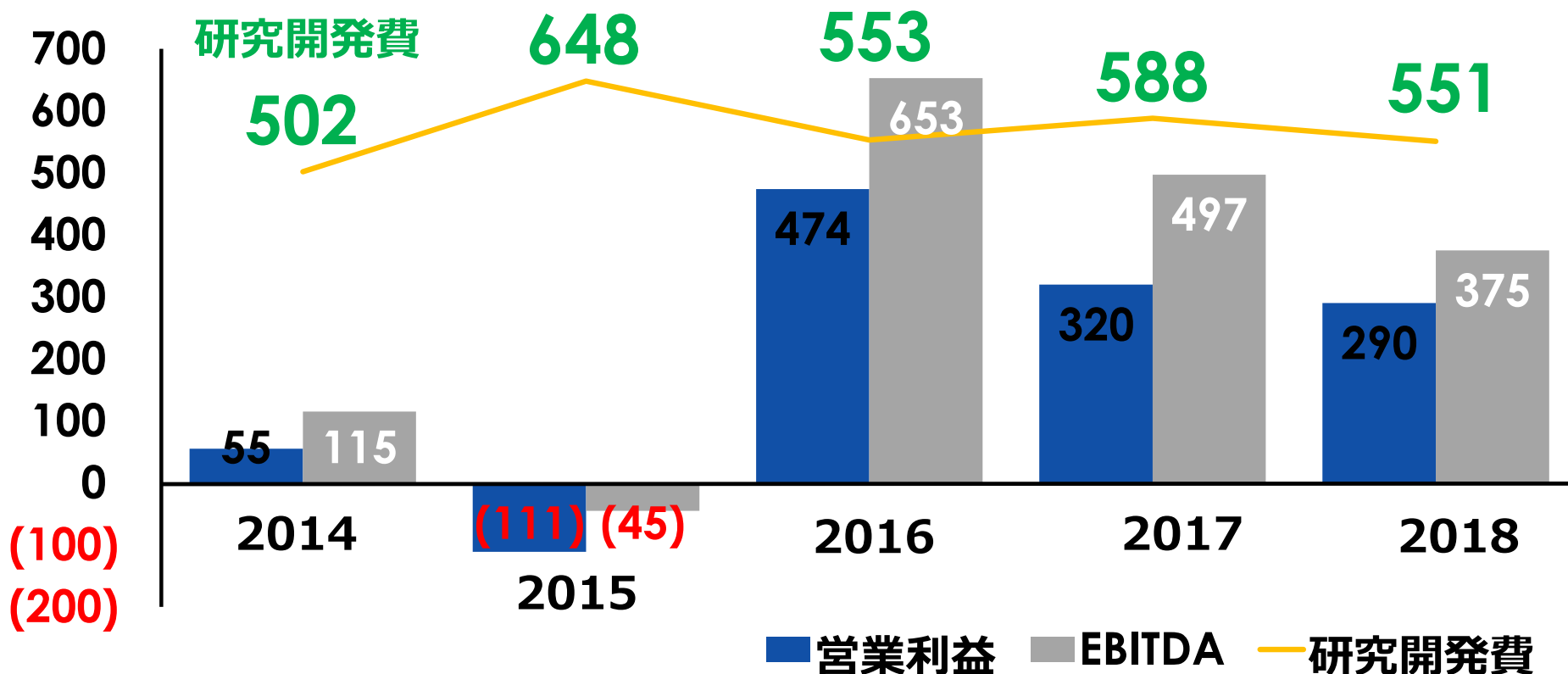


# 連結営業利益・EBITDA及び研究開発費の推移



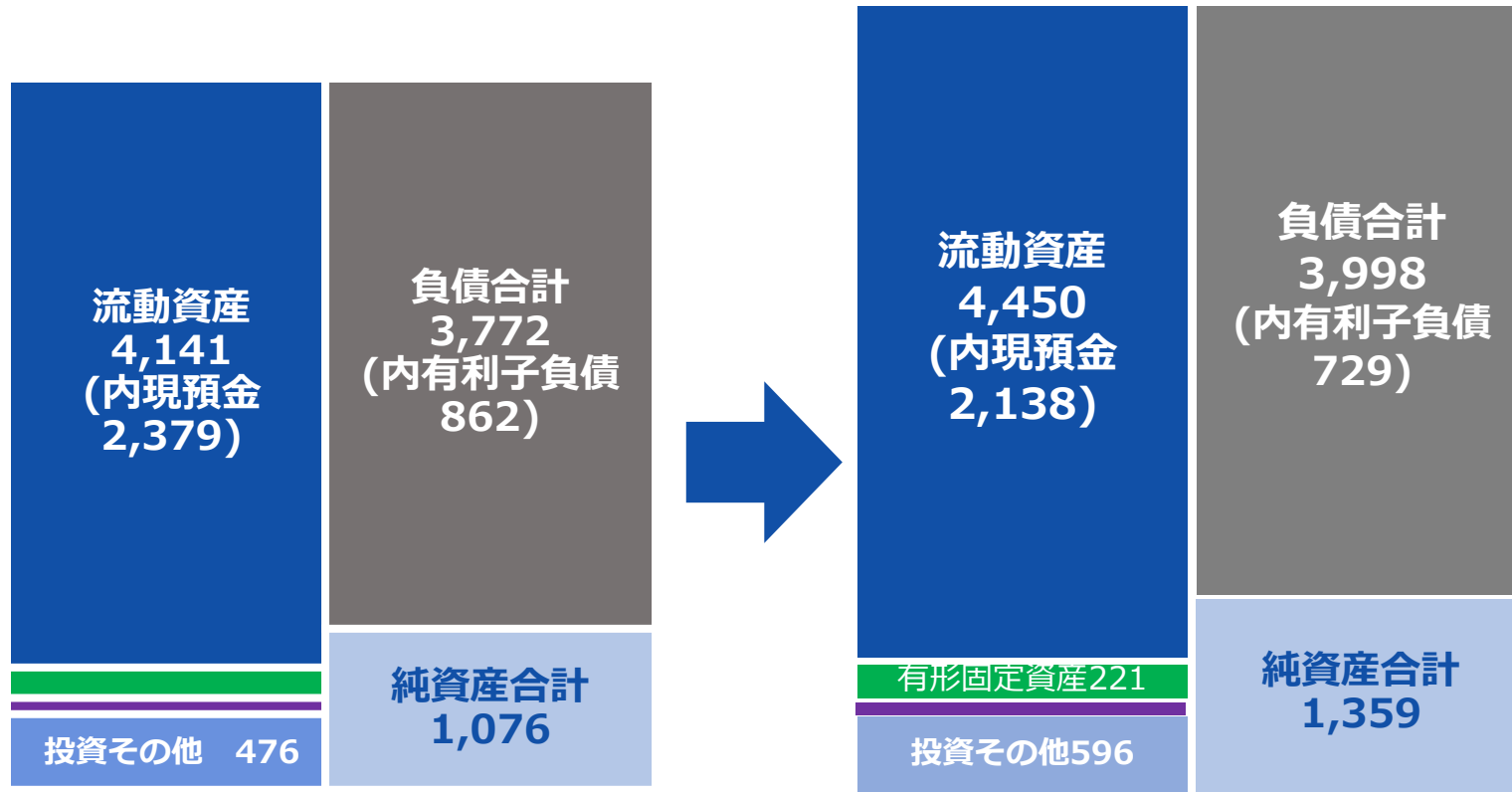
- 営業利益は前年同期比29百万円減益
- EBITDAは前年同期比121百万円減益

(単位：百万円)



# 貸借対照表 (連結)

(単位：百万円)



■ 有形固定資産 169  
■ 無形固定資産 61

2017年12月31日

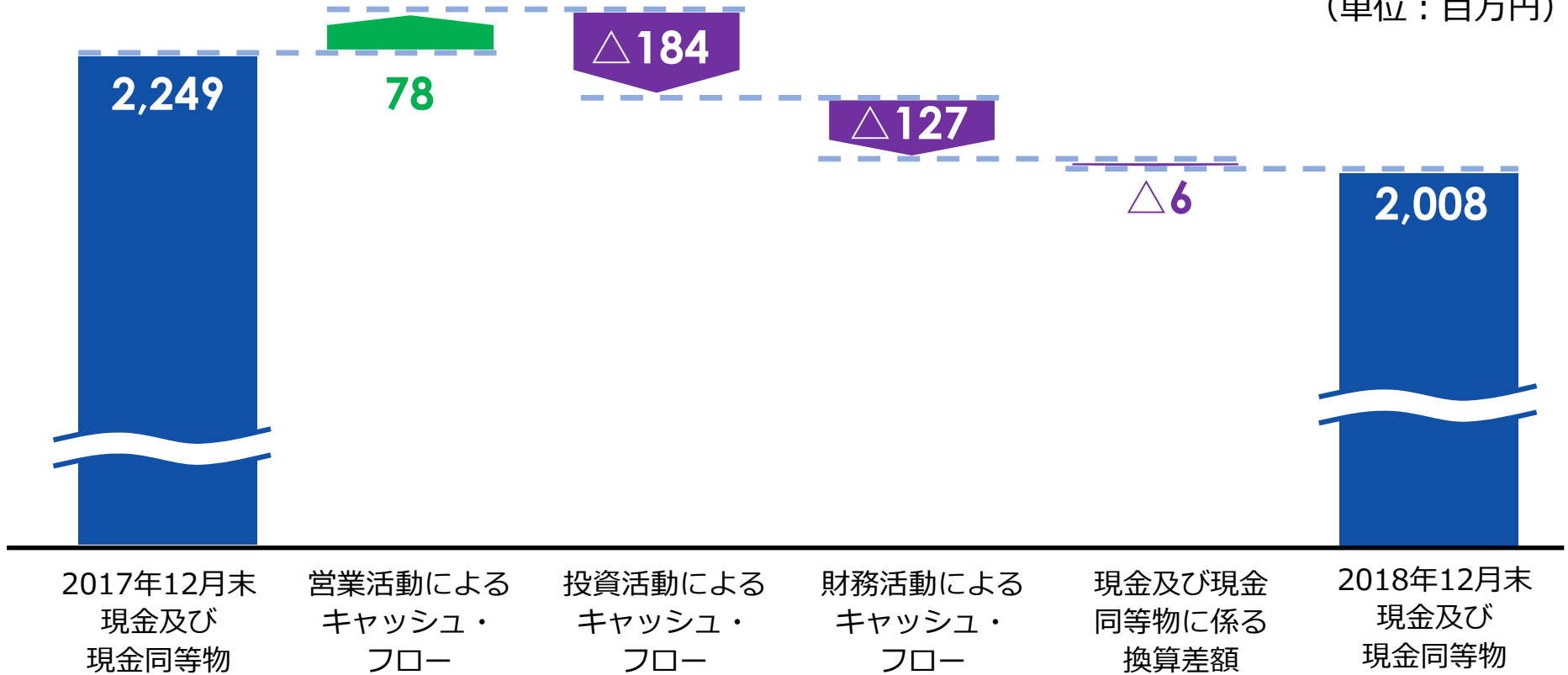
■ 無形固定資産 89

2018年12月31日

- 流動資産 : 売掛金235百万円増加
- 固定負債 : 長期借入金133百万円減少
- 純資産 : 282百万円増加

# キャッシュ・フロー（連結）

（単位：百万円）



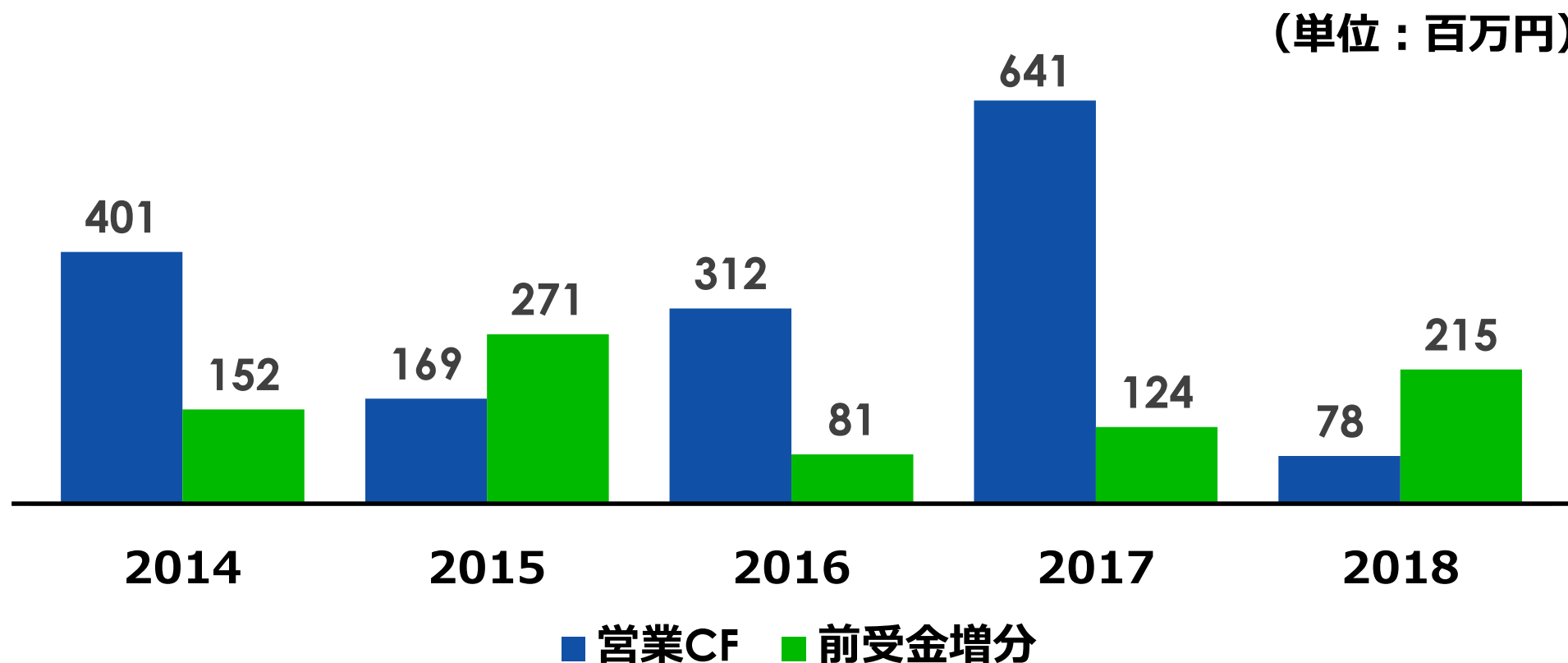


# キャッシュ・フロー変動要因

	営業キャッシュフロー	投資キャッシュフロー	財務キャッシュフロー	その他
金額	+78百万円	△184百万円	△127百万円	△6百万円
構成	(+)税金等調整前利益 284百万円 (+)前受金 215百万円増加 (△)売上債権 224百万円増加 (△)棚卸資産(主に仕掛品) 107百万円増加 (△)その他 90百万円	(+)合併による収入 30百万円 (△)有形固定資産取得※ 89百万円 (△)無形固定資産取得 50百万円 (△)投資有価証券取得 70百万円 (△)その他 5百万円  ※)サウスカロライナ大学におけるR&Dセンター設立による資産取得と、米国における会計基準変更によりリース資産を有形固定資産計上したことによるもの。	(△)長期借入金返済 133百万円等 (+)その他 6百万円	(△)為替差 損等により、 6百万円減少

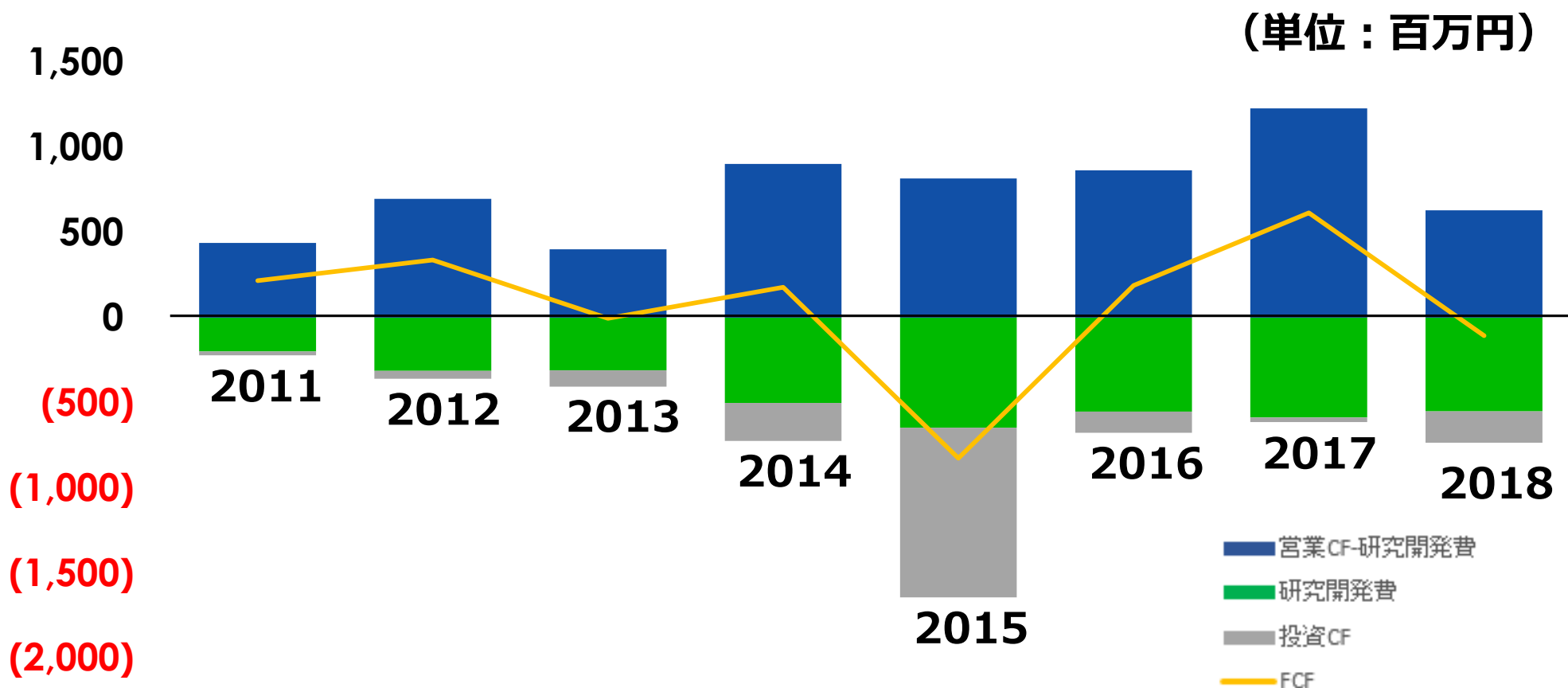
# 営業キャッシュフロー・前受金推移

潤沢な前受金により、営業キャッシュフローを下支え



# フリーキャッシュフロー推移

安定したキャッシュフローを背景に、研究開発・投資活動を推進



# オープンシステム基盤事業

売上高

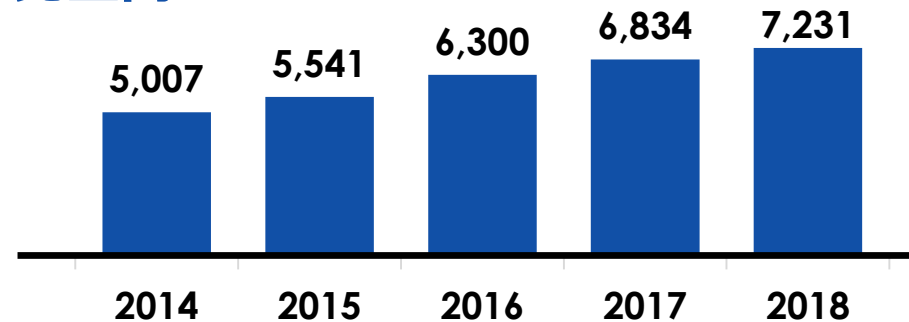
7,231百万円（前年同期比 5.8%増）

セグメント利益

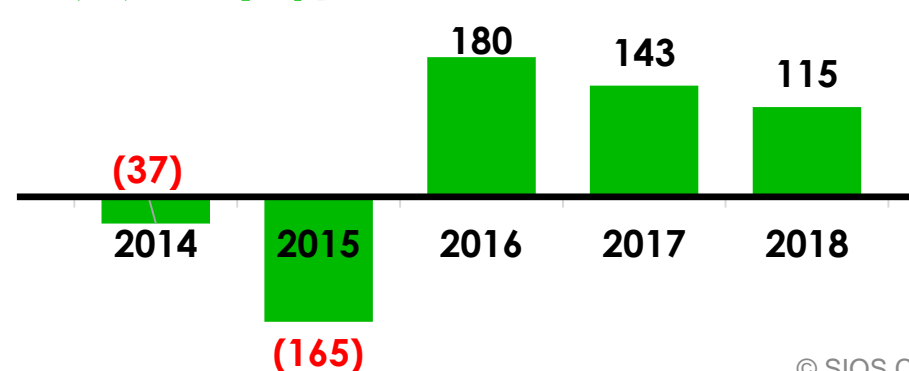
115百万円（前年同期比 19.3%減）

（単位：百万円）

売上高



セグメント利益



売上高

国内

- 「LifeKeeper\*」は**微増**
- OSS\*サポートサービスは**堅調な増収**
- Red Hat, Inc.関連商品\*の販売は**順調な増収**

海外

- 「LifeKeeper」は**減収**

セグメント利益

- 商品販売の粗利率低下により**減益**
- 「SIOS Coati\*」新規バージョンリリース費用が**増加**

※ 「\*」を付した用語につきましては、29ページに解説を記載しております。

# アプリケーション事業

売上高

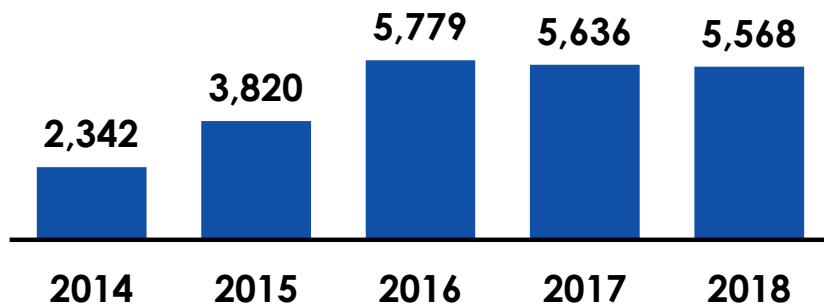
5,568百万円（前年同期比 1.2%減）

セグメント利益

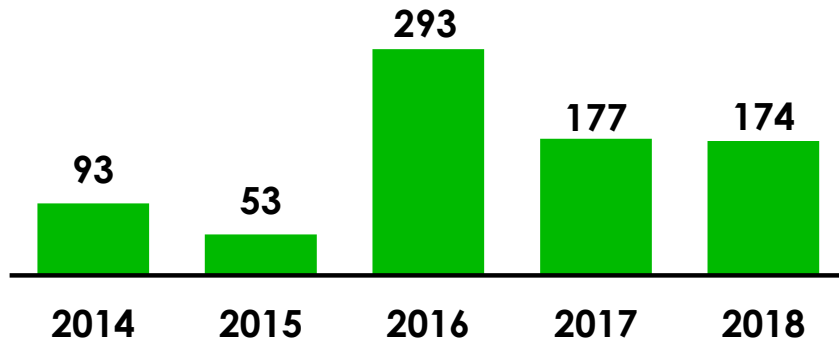
174百万円（前年同期比 1.4%減）

（単位：百万円）

売上高



セグメント利益



売上高

- MFP向けソフトウェア\*製品は上半期**減収**、下半期**増収**
- システム開発・構築支援は**減収**
- Gluegentシリーズ\*は**好調な増収**

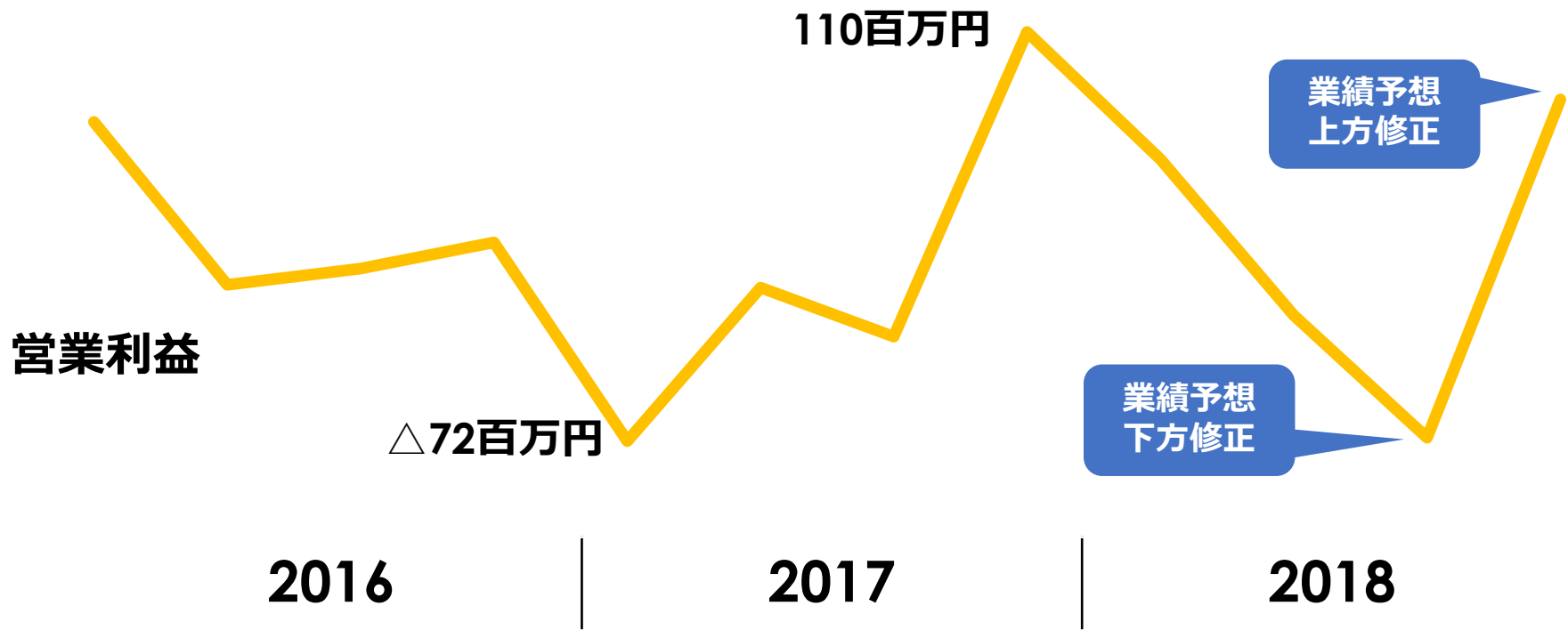
セグメント利益

- のれん等の償却費が100百万円減少したものの、新規事業関連費用の**増加**、金融機関向けのシステム開発・構築支援において一部受注案件の開発に遅延が生じたことにより**減益**

# 業績予想修正の要因

## 金融機関向け経営支援システム事業において業績見込差異が発生

<b>課題</b>	大型案件の動向に影響され、業績変動の大きい事業構造
<b>対策</b>	システムのクラウド移行とあわせ、サブスクリプションビジネスモデル*の導入により、構造改善を図る



Ⅱ

# 2018年12月期 の振り返り

# 中期経営戦略の基本方針

1

**Fintech\*を含む  
新たな領域での新規事業創出**



2

**継続的な研究開発投資**



3

**コアビジネスの競争力強化**





# 1. Fintechを含む新たな領域での新規事業創出

## 2. 継続的な研究開発投資

継続投資により研究開発・製品開発体制を整備



パブリッククラウド上の運用自動化サービス「SIOS Coati」は最新のサーバーレスアーキテクチャーを適用した新バージョンをリリース

「フリーアドレス指定システム」オフィスガーツを販売開始。Willysmに続き働き方改革ソリューションを拡充



サウスカロライナ大学にR&Dセンターを開設  
AI研究を戦略的に推進

共同研究には  
SIOS iQを提供

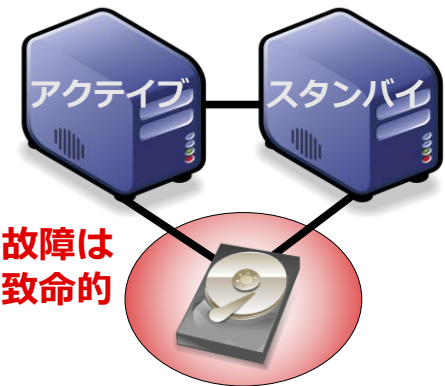


# 3. コアビジネスの競争力強化

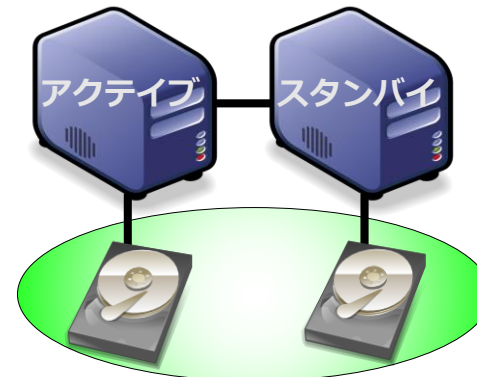
## 株式会社サードウェアを吸収合併 事業継続ソリューションのラインナップにDRBD\*を追加

### ディスクシェアによる多重化

- DRBD(Distributed Replicated Block Device)とは
  - ・ ストレージ多重化システム
  - ・ ネットワーク経由での多重化
- 特徴
  - ・ 機器の多重化による高い信頼性
  - ・ 汎用の機器を使用可能
  - ・ 10年以上の長い実績と安定性
  - ・ 大容量ディスクサポートが可能



### DRBDによる多重化

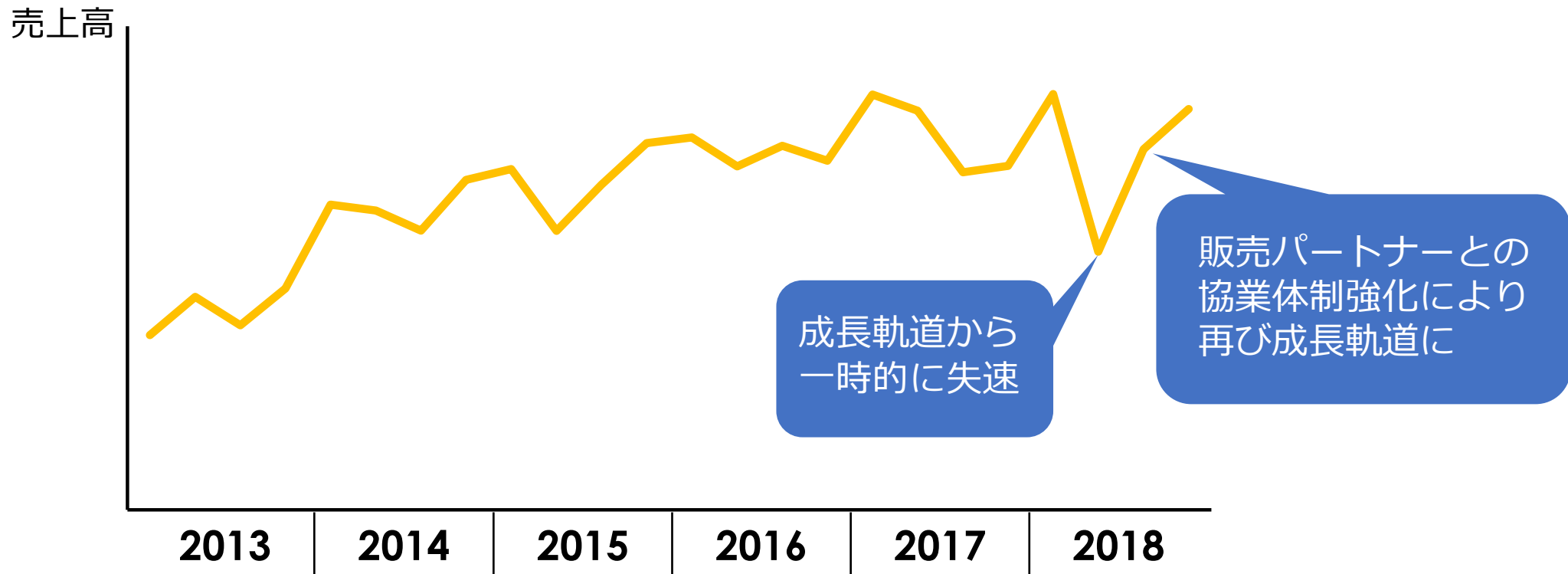


同時に故障する  
確率はきわめて低い

### 3. コアビジネスの競争力強化

第2四半期に主力製品の売上落ち込み  
 下半期は販売パートナーとの協業体制強化により反転伸長

#### MFP向けソフトウェア製品売上高



Ⅲ

**中期経営計画概要  
および通期業績予想**

# 中期経営計画における基本方針と経営指標



## (1) 会社の経営の基本方針

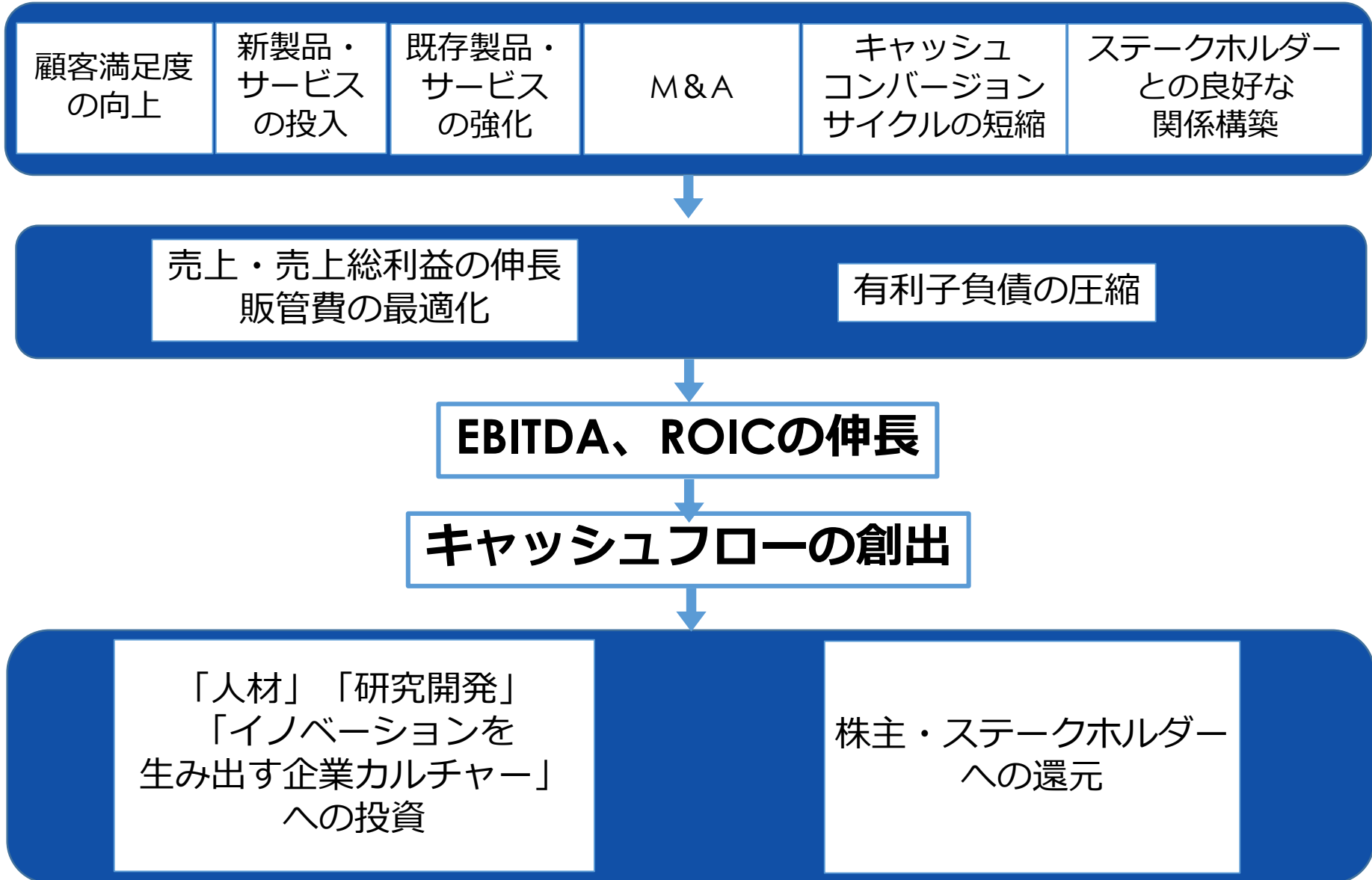
当社グループは、「世界中の人々のために、不可能を可能に。」をミッションと定め、イノベーションによって人々の課題を解決し、より良い社会の実現に貢献することを経営の基本方針としています。

## (2) 目標とする経営指標

当社グループは、継続的なキャッシュフローの創出のため、EBITDA及びROICを経営指標といたします。キャッシュフローは、当社グループ成長のための源泉(Driving Force)である「人材」「研究開発」「イノベーションを生み出す企業カルチャー」への投資、及び株主・ステークホルダーへの還元の出発点とし、これらの活動を通じて経営の基本方針の実現を目指します。

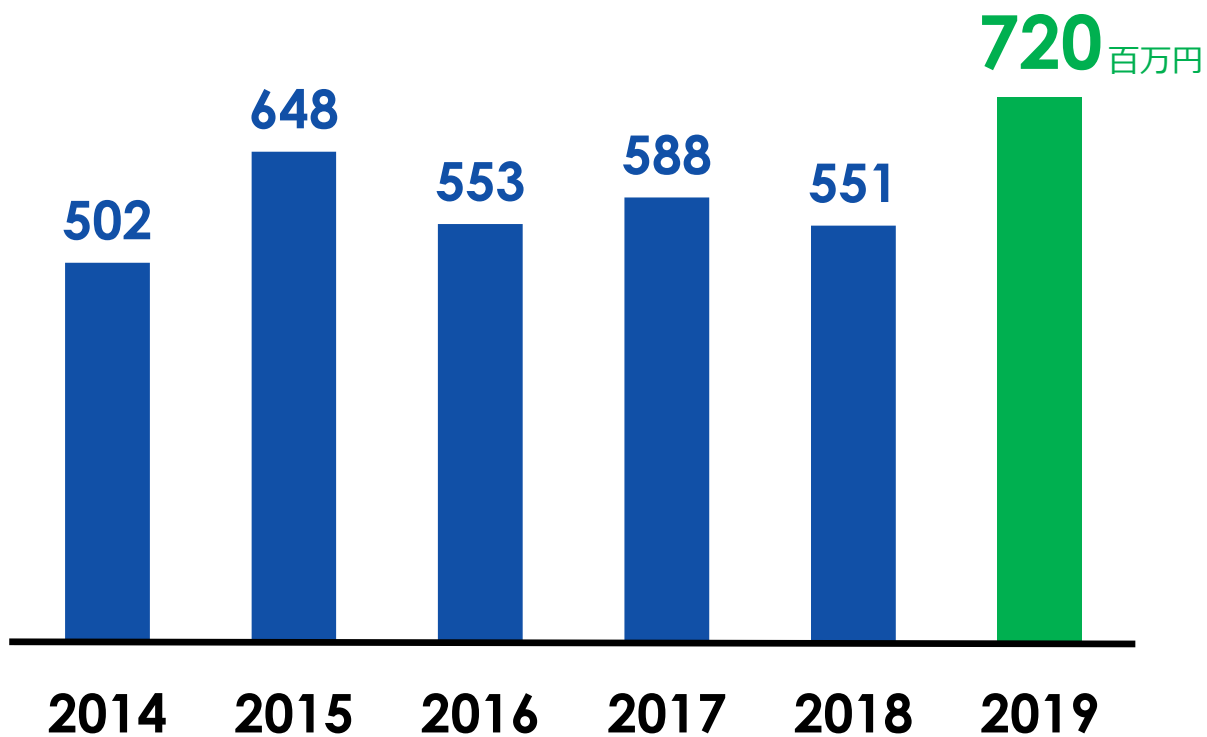
注：当社グループが定めたミッションにもとづき、基本方針及び経営指標を新規に設定しております

# 経営指標向上にむけて



# 研究開発への投資

## 研究開発費の推移



## 注力分野



AI



クラウド  
サービス



Fintech

# 人材への投資

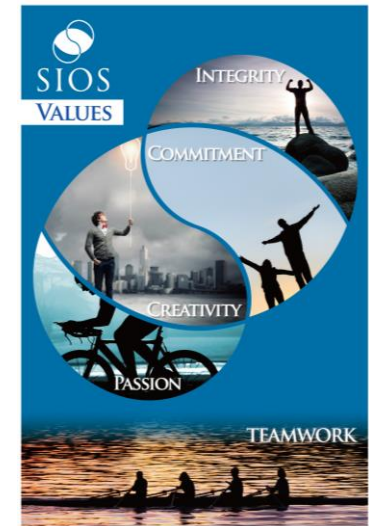
## イノベーションを生み出す企業カルチャーへの投資

### テレワークの拡充



クラウドで使える  
自社製品は  
テレワークの  
強い味方

### 社内報奨「SIOS Value Award」



### 社会貢献活動

レジ袋再利用ワークショップ  
木の廃材再利用ワークショップ



S I O S  
Sustainability



オーガニック  
商品Eコマース



ORGANIC STORY



CO2削減に貢献する  
MFP関連ソフトウェア



# 中期経営計画について



事業の基盤を固める3年間と位置付け、  
2021年 EBITDA 5.5億円、ROIC15%を目指す

(単位：百万円)

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
EBITDA	△45	653	497	375	300	450	550
ROIC	△2.5%	11.2%	10.1%	8.7%	6.4%	11.1%	15.0%

\* ROIC = 営業利益 × (1 - 実効税率) ÷ (有利子負債 + 株主資本)

\* ROICは、実効税率35%を前提として計算

# 2019年12月期 通期業績予想



**9期連続の増収**となる売上高132億円を計画。  
中長期的な成長のため**研究開発費の増加**を見込む。

(単位：百万円)

	18年12月期 実績	19年12月期 業績予想	差額	前年同期比
売上高	12,799	<b>13,200</b>	+ 400	3.1%
営業利益	290	<b>200</b>	△ 90	△ 31.2%
経常利益	310	<b>210</b>	△ 100	△ 32.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	225	<b>140</b>	△ 85	△ 38.0%
EBITDA	375	<b>300</b>	△ 75	△ 20.2%
ROIC	8.7%	<b>6.4%</b>	-	-

# 当期・次期の配当

## 当期配当予定 (2018年12月期)

当期は、2018年2月5日に公表しましたとおり、前期特別損失に伴う純資産の減少により、無配となります。

## 次期配当予想 (2019年12月期)

現時点での業績予想を前提に、グループ会社からの配当と次期純利益により1株当たり5.0円の復配を予定しています。

	第22期 2018年12月期 (当期予定)	第23期 2019年12月期 (次期予想)
年間配当	0.00円	5.00円

# サイオスについて



## SIOS is Innovative Open Solutions

本社	東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル
資本金	1,481百万円
設立	1997年5月23日
社員数	連結440名（2018年12月31日現在）
主な 連結 子会社	サイオステクノロジー（日） SIOS Technology Corp.（米） グルージェント（日） キーポート・ソリューションズ（日） Profit Cube（日）

サイオスは、Linuxに代表されるオープンソースソフトウェア、AI、クラウド、金融技術に卓越した強みを有するテクノロジー企業群を子会社に持つ東証二部上場の持株会社です。

「世界中の人々のために、不可能を可能に。」  
をグループミッションに、  
イノベーションによって  
人々の課題を解決し、  
より良い社会の実現に  
貢献してまいります。



項	用語	説明
12	<b>LifeKeeper</b>	本番稼働のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うソフトウェア。
12	<b>OSS (オープンソースソフトウェア)</b>	ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。
12	<b>Red Hat, Inc.関連商品</b>	オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc.が開発するオープンソースの製品。
12	<b>SIOS Coati</b>	クラウド上でシステム障害を自動復旧するソフトウェア。
13	<b>MFP向けソフトウェア</b>	プリンタ、スキャナー、コピー、ファクス等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multifunction Peripheralの略)という。MFP上で利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」「Speedoc」等。
13	<b>Gluegentシリーズ</b>	子会社グルージェントのサービス。IDの管理をクラウドで行うサービス「Gluegent Gate」をはじめ、Google Calendarにチームメンバーの予定管理機能等を付加した「Gluegent Appsグループスケジューラー」等、企業におけるクラウドを利用した業務効率化等を支援するサービス。
14	<b>サブスクリプション ビジネスモデル</b>	クラウドで提供されるSaaSサービス等において、利用期間に応じて課金するビジネスモデル。
16	<b>Fintech (フィンテック)</b>	Finance (金融) とTechnology (技術) の融合による新たなテクノロジー。
18	<b>DRBD</b>	ネットワークを通じてサーバーのハードディスクをリアルタイムで別のサーバーに複製するソフトウェア。

## ご留意事項

業績予想につきましては、現在入手している情報に基づいた当社の判断であり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要素により業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向などが含まれております。但し、業績に影響を与え得る要素は、これらに限定されるものではありません。

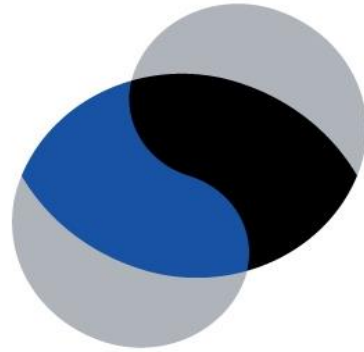
### 本件に関するお問い合わせ

サイオス (IR)

**Tel : 03-6401-5111 (代表)**

Webによる場合はこちらからお問い合わせください

[https://lp.sios.jp/MRK\\_Inquiry\\_IR.html](https://lp.sios.jp/MRK_Inquiry_IR.html)



SIOS